



【ものづくり・人づくり・地域づくり】2018 年度活動テーマ ～素材を活かしてわが家の味～

# TPP 協定（環太平洋パートナーシップ協定） の背景には種子法廃止も関わっていた!?

7/13 - 14 に生協ネットワーク 21 の総会に参加した際、元農林水産大臣で現弁護士の方山田雅彦氏の講演「種子法の廃止とこれからの日本の農業について」がありました。

TPP（環太平洋パートナーシップ協定）は政治と経済第一主義に取り組んでいる事と、そのことで私たちの生活が危ぶまれている事を知りました。

TPP には協定文とは別に日米二国間で交わした交換文書（サイドレター）があり、「政府は規制改革会議の提言に従って必要な措置をとる」と明記されています。今回はこの文書のとおりに進みました。トランプ大統領は TPP からの離脱を表明し、現在は日米自由貿易協定（FTA）の交渉を求めているが、交換文書の効力は生きており、国会ではサイドレターについて「我が国が自主的にタイミングを考え、実施していくことになる」との答弁が

ありました。

日本は TPP 協定を批准しているの、国会で TPP 協定に沿って国内法の整備をしています。その一つが「種子法の廃止」となります。

韓国は米韓 FTA によって国内法を 200 本変更したとのことです。今後も TPP の影響により、様々な国内法の改正が予想されます。私たちの暮らしや、健康、生活に大きく影響した国内法がどんどん解体されていき、あまり大きな報道もされないまま、知らない間に変わっていた、と言う事が起こるのではないかと懸念を抱いています。

政治と経済第一主義の TPP によって、国内法の改正、その一つであった「種子法の廃止」は日本の農業に、私たちの暮らしにどの様な影響を与えているのか？まずは知ることが大事だと考えます。

今週は 8 月 5 回の商品カタログを配布しています。提出は 8/20 の週からになります。

	日	月	火	水	木	金	土
7/4回供給	22	23	24	25	26	27	28
配布	休み	8/5回配布					夏季休暇
注文書提出		(8月4回注文書提出)					
延長8月4回収		延長注文書切→					
8/3回特別供給	12	13	14	15	16	17	18
	夏季休暇				変則供給		
					月・火コース	火・水・木コース	木・金コース
延長8月4回収					延長注文書切→	8/4回木	8/4回金
8/4回供給	19	20	21	22	23	24	25
配布	休み	9月1回注文書配布					休み
注文書提出		8月5回注文書提出					

## 2018 年 8 月の予定

### ●生協基幹運営／地域活動・催し●

- ・ 8 月ゴンタの丘「常総つこ応援団」は夏休み期間中でお休みになります。次回は 9 月に再開します。
- ・ 毎月第 1 土曜日に生協本部にて、青空マルシェを開催しています。
- ・ 8/11（土）～ 15（水）までお盆休みになります。
- ・ 8/16（木）～ 18（土）は変則供給にてお届けになります。
- ・ 8/29（水）定例理事会

### ●提携・協同・連帯企画●

- ・ 8/30（木）～ 31（金）生協ネットワーク 21 物流担当者会議（あいコープ みやぎ）
- ・ 8/31（金）～ 9/2（日）生協ネットワーク 21 専務交流会（あいコープ みやぎ）
- ・ 9/1（土）東海第二原発再稼働 STOP!! 茨城県大集会（駿優教育会館 8階音楽ホール）

## TPPによる種子法廃止によって日本の農業はどうなる？私たちの暮らしへの影響は？

### ★主要穀物の種子が民間に開放されると種子の価格が4～10倍になる

- ・安定して安く入手していた優良品種の種を4～8倍の価格で購入しなければならなくなります。現在三井化学「みつひかり」（〇〇家の牛丼）、住友化学「つくばSD」（某コンビニのおにぎり）、日本モンサント「とねのめぐみ」は公共品種の4～10倍の価格で販売されています。
- ・民間の品種みつひかり等はF1品種なので自家採種できずに毎年新たに種子を購入しなければならなくなります。
- ・農家は民間会社と直接契約して、肥料・農薬などの資材はすべて購入が義務つけられ、収穫した米も他に出荷することはできなくなります。
- ・かつて野菜の種子は国産100%でしたが、今では90%が海外生産されるようになっていきます。現在、すべて国産で自給している米などの主要穀物の種子が、今後、海外生産されると食糧安全保障の危機につながります。

### ★日本のコメ農家が、米国モンサント等へロイヤリティを支払うことになる。

- ・農業競争強化支援法8条4項により、これまで日本が蓄積してきたコメ等の原種、原原種優良品種の知見をすべて民間に提供することになっています。
- ・住友化学、三井化学等の民間会社の背後にはモンサント、デュポン、シンジェンタ等の世界の種子産業がいるのではないかとそれらが日本の貴重な種子を育種権の登録または応用特許を申請し、日本の農家もロイヤリティを支払わなければならないのではないかとすでにメキシコの農家はトウモロコシ、フィリピン農家ではコメのロイヤリティをモンサントなどに払っています。
- ・政府は譲渡先モンサントなど、外資も除外しないと答弁しているので、いずれコメ農家も日本の原種なのに、外資にロイヤリティを支払うことになるのでは？と危惧しています。

### ★稲、麦類及び大豆の種子について（通知）平成29年11月15日 農林水産事務次官

種子法廃止後の都道府県の役割として、直ちに今までの取組をやめろとは言わないが、予算はつけませんよ、というスタンスです。

さらに、民間が本格的に参入するまでの間、種子増殖に必要な技術や知見を民間に提供する様、要請しています。

### ★日本は遺伝子組み換え農産物の承認大国になる。

種子法廃止によって、日本でモンサントなどの外国の企業が参入しやすい環境になることで懸念されるのは、遺伝子組み換え作物の承認が進んでいることが挙げられます。

モンサントはすでに1999年には茨城県にて実験圃場で栽培実験を始めています。表からもわかるように、TPP批准後急速に遺伝子組み換え農産物の承認数が拡大しています。

	2015/11/1	2017/1/29	2018/1/2
日本	214	232	309
米国	187	136	197
韓国	136	149	164
EU	86	95	99

これは、ほかの国と比べると明らかに承認数が多いことが分かります。

### ★遺伝子組み換え食品（鮭、小麦）が輸入され、その“表示”も出来なくなる!?

日本の現行法制度では遺伝子組み換え食品の輸入は「原則禁止」となっており、5%以上の混入には「表示義務」が課されています。例外として食用油、醤油は表示しなくて良いとなっています。

しかし、TPP協定では第2章19条に定義「現代のバイオテクノロジーによる農産物、魚、加工品」、第2章27条8項「遺伝子組み換え農産物の新規承認を促進する」とあります。このことはTBT（貿易の技術的障害に関する協定）章内で中央政府による「強制規格」に該当し、TPP協定第8章7条「強制規格」はモンサントなどの利害関係者の意見を聴取し、それを考慮しなければならず、日本独自の“表示”を決められなくなる可能性が高くなります。

日米TPP平行協議による交換文書では、強制規格等について作業部会が設置される事になっています。

## ★野菜、果物に産地表示が出来なくなる!?

TPP 協定第 18 章 33 条にて、制限をかけています。各国共通で認識できる日用語が基本となり、例えば「新潟産コシヒカリ」が「日本産コ

シヒカリ」になってしまう可能性もある考えられます。

従来のような自由な産地表示が出来なくなる恐れがあります。

## 【商品コラム】岩瀬さんの豚肉の誕生は、娘への愛情から!!

### ●養豚業のキッカケ!!

岩瀬牧場は 64 年の歴史があり、戦後日本が敗戦した際、これからは「肉食の文化が来る」と初代社長の岩瀬弘さん（現社長の卓子さんの父）が考え、養豚を始めたそうです。始めた当時から、飼料にこだわりを持ち、数年後には現在の飼料の元祖となる発酵に興味を持ち始めました。

### ●脂の厚さ、美味しさは娘への愛情から

娘の卓子さんは豚の脂身が苦手で、そんな「娘が食べられるおいしい脂のついた豚肉を!!」と、弘さんが 1 から豚の掛け合わせを考え、何年もかけて試行錯誤しながらできたのが、現在の岩瀬さんの豚肉（黒豚系の特殊な品種）です。今では、三元豚、四元豚などがブランド化されていますが、当時、養豚の常識としては異種交配は異例でした。常識をも覆し、娘への愛情から生まれた豚肉です。

現在の一般的な養豚では人の手が少しずつ離れ、機械化が進んでいますが、岩瀬牧場では 1 人 1 人が愛情を持って豚に接し、豚に触れ、日々の様子を見ながら育てています。また飼料は牧場で作っ

ており、地域で集めた食材（食品残渣）を利用し、熱を加え、酵素を混ぜてできる、自家製の酵素飼料を豚に与えています。

「豚肉は脂が厚くないと美味しくない。」と弘さんは考えていた為、おいしい豚肉を作るために、脂を厚くし、赤身部分にサシを入れています。そのため豚肉自体が柔らかく、パサつきません。脂に豚肉特有の臭みがなく、クドくないのも特徴です。

組合員さんから「脂が厚い」とのご意見をいただいておりますが、岩瀬さんの豚肉にはそのような経緯があることをご理解していただければと思います。

### ●11月に「新 岩瀬さんの豚肉」が登場!!

岩瀬さんの豚肉を作るために約 4 年前、原種となる豚を生協で購入しました。2018 年 2 月に岩瀬さんの豚肉となる品種が生まれ、現在 6 か月が経っています。一般的な豚は 6 か月で出荷となりますが、岩瀬牧場では 8 ~ 9 か月間かけてじっくりと育てます。出荷は 11 月頃の見込みです。お楽しみに!

## 2018 年度秋の生協強化月間テーマ

### 「生産者、組合員、職員の想いを、力をひとつに! 乗り越えよう!!」

### 食と環境の常総を地域に!

#### お友達に声をかけて!

「食は生命」……常総生協は健康な食を手に入れるための本当の顔の見える産直と、地域の環境を守り、独立した単生協として行ってきました。

「消費」を、与えられる受身のものから、自ら主体的に生産現場に出向き、生産者に会い、その信頼の上に自分の目で確かめられる食べものを手に入れる。食を通して地域環境も考えることを大切にしています。

そのため、私達の生協は、商品開発から案内の製作、商品の仕分・供給まですべてを人まか

せにせず、自分たちの手でやらなければなりません。良いも悪いもさらけ出し、いっしょに知恵と力を出し合ってひとつひとつ前進してゆきます。

良心的な商品の生産を支える力も、地域の環境をいっしょに考え行動する仲間を増やすことも、職員を確保し教育し、職員たちの生活を保証するのも私たち組合員の力次第です。

地域での仲間づくりにおいては、私たち組合員の「ひとつ」に勝るものはありません。さあ、秋の生協強化月間! この秋、みんなで友達に一声かけてください。その一声が地域に根ざした常総生協を強めます。

●組合員と生産者と職員の広場● ～鈴木牧場牛乳特集～

●う～ん、も～おいしい!

待ってました鈴木さんの牛乳!届いてすぐに飲みました。さらっとしていて、すっきりとした味わい♪う～ん、も～おいしい!ありがとうございます。

(取手市 S.Dさん)

●これが本当の牛乳と思いました。

主に娘が飲んでいますが濃くておいしいと言っていました。私はほとんど牛乳は飲んでいませんが鈴木さんのはおいしいと思いました。これが本当の牛乳と思いました。

(流山市 K.Eさん)

●濃厚で後味もよくおいしかったです。

キャップをあけたときビンのまわりが少しかたまっていましたが低温殺菌の牛乳はヨーグルト状になることを聞いたことがあるのでびっくりはしませんでした。濃厚で後味もよくおいしかったです。

(守谷市 S.Oさん)

●/ンホモ牛乳にしかできない。

クリーム層もおいしくいただきました。

(守谷市 Y.Sさん)

●コーヒーに入れて飲む

石岡 鈴木牧場牛乳、コーヒーが好きでよく飲むのですが、コーヒーに入れて飲むと美味しく「石岡 鈴木牧場牛乳」の良さがわかります!他の牛乳との違いがわかります。

(坂東市 T.Uさん)

●夫が大喜びで登録したい!!

50年以上前のことですね。取手一高に農業科があり牛乳を販売していて朝買いに行った記憶があります。私たちは牛乳の皮とよんでいたのですがブワツと皮のように固まっていたのがビンに入っていたのを思い出しました。それこそ一頭の牛さんからいただいたお乳という感じ。私

は基本的に牛乳が合わないのですが、夫が大喜びで登録したいということです。私も前回飲んで不調にはなりませんでした。

(取手市 H.Sさん)

●クリーム層は、スプーンですくって食べちゃいました!(^)!

鈴木牧場の牛乳とっても美味しかったです。フタのようになっていたクリーム層は、スプーンですくって食べちゃいました。下の牛乳は思ったよりサラツとしていて甘味を感じるのが不思議でした。子供たちが「また頼んどいて!!」と言うので今週も頼みます。今週は2杯目にありつけるか.....

(つくば市 G.Oさん)

●鈴木牧場 鈴木さんからメッセージです!!

生協の組合員さんと鈴木牧場の長年の夢でもあった牛乳が商品として実現し、これだけ多くの反響を頂けるとは想像していなかったので牧場のスタッフ一同とても驚いています。実際に牛乳を飲んで、美味しいと感じてくれた組合員さんが予想以上にたくさんいたという事実はとても嬉しくて、ワクワクした気持ちになりました。

これだけ多くの組合員さんからご要望を頂いたので、鈴木牧場としてもその期待に応えようとこれまで最大限努力してきましたが、このまま無理を続けては継続的に取り組むのは困難という判断から本来の牧場経営と無理なく両立できる週3日製造という形での対応をさせて頂く事にしました。

組合員の皆さんの期待に全て応えられなかった事は申し訳なく思いますが、現状をご理解いただき、体制を立て直すために一旦お時間を頂いて、皆さんの要望にできるだけ応えられるよう準備を進めていきますので、もう暫くお待ちいただければと思います。

(2018年8月2日 鈴木牧場・鈴木 昇)